



# 潤心啓発

令和6年12月3日  
青梅市立泉中学校  
学校だより第27号  
校長 神田 哲男

泉中 HP <https://www.city.ome.tokyo.jp/school/izumi-j/>



## 谷川俊太郎さん 追悼

「二十億光年の孤独」や「生きる」などの作品で親しまれてきた詩人の谷川俊太郎さんが、11月13日に逝去されました。「信じる」や「春に」は合唱でもおなじみですね。数多くの詩はもちろん、エッセイや翻訳書も多数手がけた谷川さん。本校の校歌も谷川先生によって作詞され、御子息である賢作さんが作曲をしてくださいました。昭和59年1月28日に多数の御来賓のもと、生徒、保護者、教職員共々に、校歌発表会が体育館でお披露目されたことが本校の沿革史に残されています。開校年度の1月に産声を上げたわけです。その豊かな詩情の流れの中で、限りない明日への指針となる本校の校歌は、41年間歌い継がれてきました。谷川先生が作詞した中学校の校歌は

20校だけであり(Wikipedia 調べ)、そのうちの1校であることと同時に、作曲した御子息である賢作さんの初めての作曲校歌であることで、改めて本校の校歌が大変貴重で誇りに思います。谷川先生の訃報を受け、改めて校歌の歴史を紐解いたとき、20周年記念式典で谷川俊太郎さんと賢作さんを囲むコンサートに出演してくださったお二人の本校校歌誕生のメッセージに触れることができました。これからも心を込めて本校の校歌を歌い継ぎたいと思います。谷川俊太郎さんの御冥福を心よりお祈りします。素晴らしい校歌をありがとうございました。

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| あ | 今 | ち | 日 | 日 | い | 今 | ひ | 海 | い | 二 |
| み | 日 | 二 | を | 三 | の | 日 | 二 | 二 | 二 | 二 |
| 青 | 三 | 十 | 二 | 三 | 三 | め | 十 | 入 | 三 | 三 |
| 海 | 五 | 九 | 一 | 七 | せ | 五 | 九 | ソ | リ | 一 |
| 京 | 新 | 一 | 中 | 七 | 京 | 三 | 九 | 世 | 大 | 京 |
| 中 | 二 | 一 | 朝 | 九 | 一 | 長 | 望 | 界 | 北 | あ |
|   | 一 | 一 | テ | 九 | 二 | 三 | 山 | と | 二 | 二 |
| 知 | 二 | 三 | 五 | 三 | 一 | 七 | 七 | 七 | 七 | 四 |
| 惠 | レ | 一 | 三 | 三 | 一 | 一 | 山 | 七 | 三 | 三 |
|   | 左 | 右 | 山 | 泉 | 日 | 明 | 山 | 七 | 泉 |   |
|   | ヒ | 子 |   |   | 日 | 三 | 二 |   |   |   |

響け若人の歌声、我が母校に～校歌誕生、作詞者よりメッセージ～（創立20周年記念誌より）

校歌の作詞をするときいちばん大切なのは、ほかの学校とは違うその学校の特色をどう表現するかということです。泉中の場合は校名が泉だったので、私は迷わず泉のイメージから歌詞を考えいくことができました。

蛇口をひねれば水が出てくるいまのような時代には、泉と言っても公園などにある噴水みたいなものを思いえがくひとも多いかもしれません。でもほんものの泉はコンクリートでかためられてはいません。地面から草のあいだからじかにわいてくるのです。その水は透き通っていてとても冷たい。子どものころの夏休み、ひんやりした林の中で、手ですくって飲んだ泉の水のおいしさが私は忘れられません。手から口へ、口からのどへ、そしておなかへ下りていく泉の水、それはからだけではなく、ここまでうるおしてくれました。そんな記憶もこの校歌の歌詞にひそんでいると思います。

ことばというものは、意味だけで成り立っているものではありません。ことばにはひびきもあるし、人それぞれのイメージもあります。ひとつのことばを生き生きさせるのは、そのことばを使う人のこころからだです。

泉というひとつのことばは、ほんものの泉がなければ生まれてきませんでした。でもたとえほんものの泉にふれたことがなくても、人は泉ということばから泉がどういうものか思いえがくことができます。この校歌を歌うことを通して、みなさんがそれぞれの泉を自分の中に発見してくれたら、作詞者としてこんなにうれしいことはありません。

## 命を考える一日 道徳授業地区公開講座が行われました

11月9日(土)に道徳授業地区公開講座が行われました。御多用の中、たくさんの保護者および地域の方に参観いただき、ありがとうございました。

「D-(19)生命の尊さ」という全校統一のテーマで、クラスごとに道徳の授業を展開しました。1年生は「わたしのいもうと」といういじめで妹を失った少女の思いに触れ、いじめについて考えました。2年生は「捨てられる命」を読み、ペットの殺処分の問題について触れ、命の大切さを考えました。3年生は「臓器ドナー」臓器移植について様々な考え方をもつ人の手記を読んで、自分の考えを発表し、生命について考えました。F組は「妊娠・出産はキセキなのか」という題材に触れ、心と身体の成長と人生について考えました。

その後体育館で、新町クリニック院長 神應知道(かんおうともみち)先生による講演「いのちの授業～がんをとおして～」を拝聴しました。起きた物事をポジティブにとらえることでポジティブにインプットを行い、ポジティブなアウトプットをすることが心の健康、幸せ、そして命に対して良い影響を及ぼすことにつながる話を教えていただきました。コーヒーをこぼしても、机や床を拭いた後、「むしろきれいになってよかった。今日のズボンは白じゃなく茶色だったからラッキーだ。」というように、前向きにとらえることが大事であることを学びました。また人を褒める、褒められることで、心に黄金水を注ぐこともよりよく生きるために必要であることも学びました。後半には、がんの性質や、ポジティブな考えが脳の活性化につながり、心を満たすことが細胞にも良くがんを予防できることを教えていただきました。

講演会後には地域や学校運営連絡協議会の方々を交えての意見交換会を行い、授業の振り返りや生命尊重について考えることができました。



心に「黄金水」を注ぐ！神應先生の講演会の様子



保護者・地域の方・教職員の意見交換会の様子

### ＜泉中生 栄光の軌跡＞

【女子バレーボール部】第8ブロック新人大会 準優勝 都大会出場

【書道】JA 西東京書道コンクール 佳作 書道 半紙の部

書道 条幅の部



### 1月の主な予定

8(水)始業式 9(木)都立推薦出願始 給食始 14(火)安全指導

15(水)専門委員会 16(木)中央委員会 17(金)避難訓練

20(月)朝礼(生徒会)・SC 勤務日 26(日)都立高校推薦試験

27(月)都立高校推薦試験・SC 勤務日 31(金)都立推薦試験発表・手続き

